



二〇一七年度関甲新学生野球秋季リーグ

1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本大学	1	0	0	0	0	0	1	0	X	2
2戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
松本大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
本学	0	2	1	0	0	0	0	1	X	4
3戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	1	2	1	0	0	0	0	0	1	5
松本大学	0	0	2	2	0	3	1	0	X	8

松本大学戦  
1勝2敗

写真 3戦目9回に本塁打を放った伊関

当部は、2017年度関甲新学生野球秋季リーグ戦の最終戦となる松本大学戦を1勝2敗で敗北し、2部リーグ3位の結果に終わりました。

【1戦目 10/28】当部エースの谷中規彦は7回を投げ2失点で抑えるも、相手投手の好投により当部の打線は安打2本に抑えられ、得点することができず、0-2で敗戦を喫した。

【2戦目 10/28】初回、松本大学に先制点を許してしまうが、当部は2回、2死1.2塁の場面で、寺西一樹がセンターオーバーの適時2塁打を打ち、2-1の逆転に成功。その後、3回には先頭バッターの乾勝己が2塁打を打ち、続く小熊隼人が振り逃げで無死1.3塁となり、その後相手のエラーが絡む間

に1点を追加。8回の攻撃では、1死から小島莞太が2塁打を打ち、その後2死2塁から澤田拓人のライト前の適時打により1点を追加。投手は先発、佐々木亮が9回を1失点の力投を見せ、4-1で勝利した。

【3戦目 11/3】1回、乾勝己の四球、小熊隼人の2塁打で1点を先制。2回、1死から笠原亮太の安打、澤田拓人の四球、寺西一樹の安打で満塁になり、牧野夏也の安打で1点を追加し2-0。根本拓真の四球押し出しで3-0。続く3回、小熊がセカンド暴投で2塁へ進塁。芳賀友喜の安打で無死1.3塁。伊関翔平の安打で1点を追加し4-0。しかし、当部の勢いはここで止まり、7回までに8失点を喫し、4-8で迎えた9回。伊関が本塁打を打ち5-8とするも、その後が続かず、敗北となった。(文・明田川諒、大谷和人)

星取表 (2017年11月3日)

順位	大学	平成国際	埼玉	本学	松本	新潟	茨城	計	勝	負	勝点	勝率	敗
1	平成国際	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆☆	☆☆	☆☆	11	10	1	5	0.90	0
5	埼玉	★★	☆☆☆	☆☆☆	★★	☆☆	☆☆	12	4	8	1	0.33	0
3	本学	★★	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	12	7	5	3	0.58	0
2	松本	★★	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	14	8	6	4	0.57	0
4	新潟	☆☆☆	☆☆	★★	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	13	6	7	2	0.46	0
6	茨城	★★	★★	★★	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	12	2	10	0	0.16	0

応援ありがとうございました。